

下記のとおり報告します。

令和6年度 原村子ども・子育て会議 議事録

【記入者】原村教育委員会 子ども課 山名 晴夏

会議の名称	令和6年度 第2回 原村子ども・子育て会議		
開催日時	令和6年6月20日 午後7時～午後8時40分		
開催場所	原村中央公民館 講堂		
出席者	五味康剛会長、戸谷佐知子副会長、東山真理子委員、篠原あずさ委員、膳師弘育委員、中村勝子委員、橘田美千代委員、堀内やえみ委員、兵頭章江委員、牛山貴広村長、古清水巖教育長、百瀬則夫子ども課長、伊藤宏文保健福祉課長、五味武彦生涯学習課長、宮坂隆生涯学習係長、清水宏江保育園長、野澤愛子教育総務係長、浦野富江健康づくり係長、中島美帆福祉係長、子育て支援係 小池悠斗、山名晴夏、策定業務委託業者 株式会社丸建		
欠席者	藤森洋一委員		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	傍聴8名、報道0社
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
百瀬課長	1 開会 ただいまから、令和6年度第2回原村子ども・子育て会議を開催いたします。 議事録は、個人情報に配慮して公表させていただきます。（異議なし）		
牛山村長	2 あいさつ 協議事項にあるスクパスについて、入退室の管理アプリなんですけれども、企業版ふるさと納税を使い実証として約半年少しぐらい実施してきました。アンケート結果が出てきて、結論から言うと廃止する方向になっております。ただ、このアンケートや利用実績を見ると必要としている人たちもかなりいまして、スクパスというアプリ、DXを使っていくかどうかも含めて、今オクレンジャー等も件数が増えていて重要な情報を飛ばしてしまったり見ていないという状況があるので、少し再検討したいと思っています。というのも、今、例えば学校の集金を現金で持って行くことがあると思うのですが、それを先生たちが集めて集計して書いていくというなかなか大変な作業になるので、例えばクレジットカード引き落としとか口座引き落としに関連付ければそのような作業がなくなりますし、また子どもにお金を持たせるという心配なところも少し無くなると思いますので、その辺また検討させていただきたいと思います。以上になりますが、本日はよろしく願いいたします。		
百瀬課長	3 協議事項 それでは、協議事項に入りたいと思います。議事進行につきましては五味会長へお願いいたします。		
五味会長	皆さん、改めましてこんばんは。協議事項につきましては私の方で進行させていただきますのでよろしくお願いいたします。本日の協議事項の中で重要な課題等ありますので、ぜひ忌憚のないご意見等を出していただければと思います。 それでは最初に、協議事項1 第3期原村子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査の結果及び計画策定について事務局から説明をお願いします。		

事務局	<p>資料 1 P4 に沿って説明</p> <p>アンケートの回収率は、60%を超える高い市町村もありましたが、20%～30%台しかない市町村もありまして、原村はわりと高い回収率であったと思います。今回は、前回と違って 0 歳 1 歳 2 歳を個別に集計するため、時間がかかりましたが細かい集計結果ができたと思います。今後は、集計結果を基に量の見込みを計算し、5 年の計画策定に入ります。</p> <p>調査結果の中で、P5 1-1 0 歳はやはり子育てが大変なのか、父親の回答率が高くなっています。あとは、P6 2-2 に原村独自の質問内容を追加しました。こちらは以前から原村に住んでいた方と生まれた後に引っ越してきた方が 2 対 1 ぐらいの割合で、実家があるからという理由が一番多いのですが、皆さん原村の方が子育てしやすいと思って来たのかなと思いました。</p> <p>P95 あとは皆さん「その他」をしっかりと書いてくださって、原村に対する要望等とても参考になりました。</p>
五味会長	<p>非常に内容の濃い調査なものですから、もう少し詳しく聞きたい内容がありましたら出していただければと思います。</p>
委員 A	<p>そもそもの質問で、第 3 期子ども・子育て支援事業計画策定のための調査ですよ。読み手は誰で、目的は何か説明してください。</p>
事務局	<p>この計画は、国で定めている規格に沿って作っているもので、読み手は住民の方です。住民の方に対して村は、子ども支援施策はこういうことを行っていくということを示すための計画になります。</p>
委員 A	<p>ということは、村がこれからの 5 か年でやりますということ載せていくものということですか。</p>
事務局	<p>村として、目標として掲げたことに対して量の見込みの結果を出し、それを達成するための施策を立てていくというものです。</p>
五味会長	<p>これ一つ一つ全て具体的に（意見を述べること）は難しい面があるかと思いますが、あくまでもその施策を検討して方向性を示すための量の確認のための一つの手段と受け取ってもらいたいのだと思います。具体的に 3 期計画の基が作られて、また皆さんに示されて、修正を加えながら策定されるものと受け止めてもらえればいいのではないかと思います。</p>
委員 B	<p>ニーズ調査の結果が出て、これから先も何回か会議が予定されていると思いますが、その流れがよく分かりません。例えば今日はこの調査結果をふまえて、どこまで議論するのでしょうか。</p>
五味会長	<p>今後の会議の進め方及び内容について、概要を事務局から説明お願いします。</p>
事務局	<p>今日はアンケートの結果報告になります。調査結果に基づいて、ニーズ量を計算していくのが 7 月いっぱいかかると想定しています。その後、ニーズ量に基づいて 5 年計画を策定していく流れになりますが、またニーズ量の結果が出た後ぐらいに報告させていただきたいと考えています。</p>
五味会長	<p>今日は、アンケートを取ってこういう数量的な意見があったとか、具体的な要望があったということを確認していただくようです。非常に回答量が多かったので、もう少し皆さんの方で質問していただけると、内容が見えてくるかと思いますがいかがでしょうか。</p>
委員 C	<p>ニーズ量の計算は、私達には分かりません。国から言われている基準で計算するわけなので、私達がどうこう言って聞こうとしても聞けるものではないと思います。</p>

	<p>アンケート全体を見て、個々の具体的な「その他」の意見がとても多かったとのことなので、1人の意見で少ないからカットというわけにはいかないと思います。村として少数の意見をどういうふうに捉えて生かしていくか、事務局に限らず、村長、教育長の中で、ちょっと引かかる部分、今までの村のやり方で良かった部分、このところ力を入れてかなきゃいけない部分があれば教えてください。</p>
委員A	<p>関連して、村の子育て支援が良いから、環境がいいから引っ越してきた感じがアンケートの結果にありましたが、村としての優先度——お金の面では予算配分になると思いますが——どのくらいの重要度で考えているのかお聞きしたいです。</p>
五味会長	<p>議長は中立ですので何とも言えませんが、今回の調査結果と、国の定める集計方法によって量的にはどうなのかを算出するところに行われると思いますが、その結果だけで第3期計画が策定されることではないと思います。そこに少数意見であるとか、要するに原村としての課題は何なのかと、課題があつて初めて施策が考えられて、それに対してどういう取り組みをして、どのような成果が得られたのかがまた何年後かに検討されていかなければいけないことだと思います。</p> <p>今日の段階では（施策や達成度の）数字は出ていませんので、次回具体的に集計をした数字が出てきて、そこにプラスアルファという課題があつたのか見えてくると話が深まると思います。プラス面でもマイナス面でも気になる点があつたかどうか、事務局の方はどうでしょうか。</p>
百瀬課長	<p>量の見込みを算出するために調査を行って、今回結果をお示ししました。これから調査結果を精査していき、先程仰られた「その他」も加味しつつ集計を進めていきたいと思っています。</p>
古清水教育長	<p>まだ事務局で精査していない部分がたくさんあるので具体的な意見は控えますが、この中期ビジョンの内容をどう位置付けるか、次回にしっかりした形で説明ができるかと思っています。今回のこの会議では、委員の皆さんが気になるところを出していただきたいと思っています。会議終わった後でももう1回見ていただいたりして、何かあれば教えてください。</p> <p>村全体としての子育て支援の重要度は一番に考えていただいていると思いますが、だからといって全部の予算がつき込まれるわけではないと思います。</p>
牛山村長	<p>（子育て支援に）力を入れているかというのは、間違いなく入れています。それはもう日本全部、人口減少で真っ先に取り組まなければいけないところなので、他の自治体も一番に近い重要度ではないかと思っています。予算配分については、例えば有名な██████では移住者が7割で子どもに対しての支援を非常に多く実施しているのですが、その代わり道路はボロボロだし、インフラもかなり（老朽度合いが）きています。子育て支援につぎ込むと他のところにはもちろん出せなくなってしまうので、それが本当にいいのか、バランスが大事だと考えています。</p>
五味会長	<p>事務局の方で今後調査結果を精査していく中で、ここが課題になっていくのではないかとこのころがあればご意見をお願いします。</p>
委員D	<p>全体に共通する課題と原村特有の課題があると思ったのですが、放課後の過ごし方、あと村の中で一つしか小学校・中学校がないということを考えてやはり交通手段が特有の課題かと思っています。自分は子供の頃に大阪にいて、皆が徒歩圏内で小学校中学校に通うことが当たり前だったのですが、原村は保護者の方が送り迎えすることが結構普通なのかなというふうに思っています。</p> <p>P56の「子供が小学校になったときの放課後の過ごし方」という設問では、低学年</p>

	<p>の方は自宅 38%、高学年の方が 47%で、大体半分ぐらいが自宅で過ごしているとのことですが、逆に言うと半分か半分強の方は他のどこかで過ごしていることだと思います。ここの集計は地域ごとに出せないでしょうか。私の記憶では（地区を）入力した気がします。私の仮説としては、放課後の居場所とか交通の問題というのは、村全体の問題ではなくて原山地区の問題ではないかと思っています。学校から近いところに住んでいる方は歩いて帰れますし、お迎えも必要ない方が多いのかなと思っています。逆に原山地区のようなちょっと車でないとしんどいようなところにいる方はやはり放課後の居場所も欲しいし、交通手段も何とか整備したいという思いがあるのではないのでしょうか。ですので、例えば原っ子広場の問題も、村全体で考えると廃止の判断ですが原山地区で考えたら必要なのではないかと、そのような仮説を持っています。</p>
事務局	<p>地区ごとに出すことは可能です。設問 21-1 については出させていただきます。その他にもあればご連絡いただきたいと思います。</p>
委員D	<p>全部は出さなくて大丈夫なので、ポイントだけお願いしたいと思います。</p>
五味会長	<p>国からの話は細かい地域別の集計は含まれてないかもしれませんが、データとすれば可能だということで、集計できる部分は集計してより原村に適した実態が把握できることは重要だと思います。事務局大変だと思いますが、お願いしたいと思います。また他にこの場所もぜひ地域別という意見がありましたら、今日ここでなくても結構ですので、また後日事務局の方に伝えていただければと思います。</p>
委員C	<p>前回の会議で、国のニーズ調査とかぶらせてあるという話をお聞きしていて、国の調査結果と今回原村の調査結果を比べてこういうところが課題だとかこういうところが充実しているとかはわかりますか。</p>
事務局	<p>国が集計するわけではなくて、市町村にこういった質問を入れながら各市町村の特色の質問を加えてくださいというものになります。</p>
五味会長	<p>このアンケートの結果によって出てくるニーズ量は、国には報告するのですか。</p>
事務局	<p>はい、国には報告します。</p>
五味会長	<p>その報告の結果は、いずれ各市町村にも戻ってくるのですか。</p>
事務局	<p>前回も少しお話をさせていただきましたが、早いところは昨年アンケート調査をしてニーズ量もう出ている市町村もあり、昨年度の結果を各市町村が公表しています。なので、各市町村のホームページに行ってみる形になります。</p>
五味会長	<p>ということは、今回のこのアンケートについての集計は、あくまでも原村として集約をしていくと。ただ、このアンケート項目については国からこういう内容を入れて調査した方がいいと言われた項目と、原村独自で入れた項目については事務局で把握しているということですので、詳しく知りたい場合は事務局の方に聞いていただくことになると思います。</p> <p>ニーズ量を算出した段階で比較もできると思いますので、次回の会議でご検討ください。</p>
委員D	<p>せっかくなので、アンケート自体の質問だけではなくて、委員の皆さんが持っている子育てに関する重要なテーマとか課題を教えてくださいませんか。それぞれ何か課題認識を持ってこういう会議に参加されていると思いますので、このアンケート自体は本当に幅広く聞いているので一つ一つ見ていくともう点の話になってしまうと思うので、それぞれ委員の皆さんにとってどういうところが重点的に取り組んだ方がいいと思われる課題テーマなのかをお伺いできればと思います。</p>

	<p>ちなみに私は、大きく3つ持っていて、子どもの食の問題と放課後の過ごし方と交通の問題が重要なテーマだと考えています。</p> <p>次回の会議でサマリーみたいな感じでまとめて出していただくとか、ある程度絞って議論した方が次回やりやすいかなと思ひまして、皆さんの意見を聞きたいと思ひています。</p>
委員B	<p>前からの課題といひますか、今の事業計画に載っていることが引き続きそのままかなり載っている印象を持ちました。一つは子どもの遊び場所の問題があると思ひて、人もいて場所もあって雨のときも休日子どもたちが群れて遊べるような場所、設備がずっと前からの課題ではないかと思ひています。</p> <p>あと年間収入の項目で足しても0.5%と人数的には少ないのですが、生活の面で色々大変な状況が伺えて、就学援助や一時保育等をやっている、意外とあまり知られてないせいか利用者が少ないと感じます。ホームページや子育てハンドブックも見させていただいて色々やられていると思うのですが、たぶん一番は直接人が人に相談して支援の道を探っていくのが確実で話しやすいと思ひるので、(前述のような媒体だけでは)情報が伝わりきれていないと感じました。</p> <p>私の方からは、未満児の保育料とか給食の無料化とかオーガニック化とかの意見もたくさん出ている、予算の限りの中で、どこを優先、どこを課題としてやっていくか話し合いをしていく上ですごく大事なことで思ひました。</p>
五味会長	<p>今日の会議でそういったご意見を委員の皆さんからぜひ出していただいて、事務局の方はその内容も含めながら次回新たな提案を、集約した形のものを示してもらえればと思ひます。</p>
委員E	<p>私は昔から原村に住んでいて、高校生のときにハラカツという地域活動をやっていたこともありまして、今も小中学生が引き継いでやってくれているのですが、そういう活動は皆さんに知られているのかどうか分からない部分があります。知っていた方が参加してくれる方も増えると思ひるので、村の方でも周知していただければ、活動がもっと活発になって、大人だけの意見ではなくて、その本人たち、小中学生の意見も聞けるのではないかと思ひますがいかがでしょうか。</p>
五味会長	<p>ハラカツは、コロナ前は夏に必ず主体となったイベントを開催して、村内の子どもたちに参加してもらうような取り組みをしてきていただいたのですが、やはりコロナ禍ではなかなかそういう活動ができなくなって、コロナが明けましたが、確かに仰るとおりのところがあるかと思ひます。</p> <p>情報発信は非常に重要な部分だと思ひますので、それも併せて取り組みとして位置づけてもらえればと思ひます。</p>
委員A	<p>次回までに事務局の方は、新たなこういう施策を盛り込むとかを考えて、それを土台にしてまた議論するというのでいいのでしょうか。それとも、計画の中身は変わらずに量の見込みだけが変わると考えていいですか。</p>
百瀬課長	<p>このニーズ調査によって方向が変わってくると思ひますので、あくまでもそれに向かって目標を立てていく、指標になるだろうと思ひます。</p>
五味会長	<p>このアンケートの結果で量的に課題が見えてきたときに、解決していく施策が位置づけられてくるのだと思ひます。</p> <p>その他にはいかがでしょうか。本日はあくまでも、アンケート結果の報告になっています。その中で委員さんの方から、気になることやぜひ今後の会議のテーマにしてもらいたいということを出していただき、次回により一歩進んだ話し合いができれば</p>

	<p>と思います。</p>
委員D	<p>今までのお話でいうと、食とか交通とか放課後も含めた遊び場所とか情報提供の仕方とか4つテーマがあったと思うので、次回のときにサマリーでも結構ですので、データではこうですとかコメントではこうですとか、課題がこういうところにあるのではなかろうかぐらいまで簡単にまとめてくださると、それをふまえてこういう方向性がいいのではないかと次回議論のときに話がしやすいと思うので、何か出していただきたいです。</p>
五味会長	<p>今の社会は情報が氾濫している状態ですので、いかにその情報をまとめて、方向性を示していくかが問われると思います。議論するのはいいけど、一つのテーマにならないと誰も意見が出せないということだと思いますので、ぜひ事務局の方でお願いします。</p>
委員C	<p>このアンケートをとった私の感想として、まず驚いたのがはらっぱを知らない人が半分もいるということ、やっぱりみんな知らないんだなと、情報発信のことがすごく気になりました。個別の意見では、知りたい情報になかなか行き着かない、ホームページを開いていったがいろんなところを探って探ってやっと分かりましたみたいな意見が書いてあったり、保護者の困っているところを見ると、乳幼児の場合は突然病気になったときの預け先、親の病気や都合が悪くなったときにどうすればいいかとの意見に対して、村の対策があるとアンケートには出ていますがそれを知らないようなので情報発信がすごく課題ではないかと全体を通して思いました。</p> <p>もう一つは、0歳児1歳児2歳児のところで「保育園に入れられるものなら入れて働いてみたい」「預けてもらえないから働けない」とあって、こんな小さいうちから社会進出したいという気持ちを持っている保護者の方が多いことに驚きました。家庭を支えるために働かなければいけないから保育園に預けなければいけないのではなく、自分のキャリアアップだとか生きがいのために働くという意見が強く出ていますと感じます。自分が子育てしていた15、16年前とは意識が変わってきていると思うので、その辺にどう対応していくか、前回の計画にはあまり載っていないと思いますので、方向性が必要だと思いました。あと、息抜き・リフレッシュ・用事を済ますために保育園に入れたいという意見が結構あったので、そういうケアも必要なか村としての方向性が出てくるといいかと思いました。</p>
五味会長	<p>やはり社会生活といいますか、生活様式だとか色んなものが変わってきていて、それが垣間見えるアンケートの結果だったと思います。それが3期の計画を立てるときの大きな課題になってくると思います。</p> <p>私もこれを見て、「何か困ったときに誰に相談するか」という設問が、村でも教育委員会の相談員とかを配置しているのですが、ほとんど0%となっているんですよ。あれだけ呼びかけて、そういうふうに取り組んできたと思いますけど、なかなか情報を発信していてもそれがしっかりと伝わっていないということは、発信の仕方に課題があるのではないかと思います。</p>
委員F	<p>発信はかなり村でもしてくださっているのではないかと思います。ただ、今の大人が読んだり聞いたりする能力が低下しているのが、世の中の全般になっているからではないかと思っています。原村だけのこのアンケート結果から、逆に、(情報発信が)足りないとは私は思いません。受け止め方の能力が下がってきているのではないかとぐらいに感じています、普段の様子を見て。残念なことではあります。</p>
五味会長	<p>以前は活字媒体でいろんな情報を伝えるのが一般的でしたが、今はデジタルの社会</p>

	<p>ですので、媒体をしっかり考えていかないと難しいと思います。SNS とかを使って、非常に短時間で情報が広がるという社会傾向もあると思いますので、その辺も含めながら（発信の仕方が）どうあるべきか更に深めていっていただきたいです。</p> <p>他にはよろしいでしょうか。</p>
全委員	（意見なし）
五味会長	<p>それでは引き続き、協議事項 2 に移りたいと思います。</p> <p>先程村長の挨拶にもありましたが、スクパスはこの約半年間、試験運用をして、その状況・利用実績についてということですので、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>まず、スクパスの簡単な説明ですが、スクパスは公共施設の入退室を管理するシステムで、保護者が児童の居場所を把握するためのものです。児童がカードを携帯して施設のタブレット端末にかざします。保護者は子どもが施設に入退したことをスマートフォンのアプリから把握できます。スクパスの読み取り端末は、現在、子ども・子育て支援センター、図書館、社会体育館、学童に設置しています。</p> <p>資料 2 スクパス アンケート調査結果 に沿って説明</p> <p>P3 お子さんが希望した理由を記入してくださいという設問では、「みんなが持っているから欲しいと言われた」「自分がどこにいるか親がわかるから」等の意見が聞かれました。利用してよかった点、課題だと思う点については、メリットとしては「子どもの居場所がわかるから安心」という声が多く、反対に課題としては「子どもがスクパスを忘れることがある」「通知が届かないことがある」等が挙げられました。</p> <p>P7 村が導入している公共施設入退出管理システムスクパスについて自由に意見をお聞かせくださいという設問では、「スクパスが導入され、1年生だったこともあり大変安心した」「習い事で利用しているが、アプリのアカウント変更を毎回しなければならず、少し面倒」ということで、村の他の団体にスクパスを利用されている方に関しては、その都度アプリ内でアカウントの変更が必要だったということです。「今は 2ヶ所なので、有料であれば必要ないと思います」「学校にも入れてほしい」「放課後の居場所ははらっぱと図書館だけになったので、スクパスがなくても親子の約束で居場所を把握できる」「無料で使えるようにお願いしたい」というような意見がありました。</p> <p>P12 スクパス利用実績 に沿って説明</p> <p>10 月以降の本格導入に関しては、見送る方向として事務局では考えています。その理由としては、まず利用率が低いというところで、スクパスを登録した児童のうち平日の利用率が 30%程度で、システムの導入に対する費用対効果が低いというところ、休日にいたっては月 10 人程度しか利用されていないので、休日の利用率が非常に低く、休日のためにシステムを維持するコストが無駄になってしまうのではないかと思います。</p> <p>次に利用料金の問題として、今スクパスの利用には 1 人当たり月額 209 円の費用がかかっています。試用期間の 9 月までは、村が費用を負担していますが、アンケート結果から多くの保護者が有料サービスに対しては抵抗を示されています。57%の保護者が無料なら利用したいと回答している一方で、有料でも利用したいと回答したのは 18%で、保護者の経済的な負担が増えることで利用のハードルが上がって、結果として、利用率の低下だったり保護者の不満が生じやすくなるのではないかと思います。</p> <p>次にメリットの問題で、保護者が子どもに対する情報を得られることや放課後の居</p>

	<p>場所がわかることで保護者が安心できるもので、子どもの居場所を把握するためにスクパスを利用している保護者のうち半数以上は、あらかじめお迎えに行く場所を決めていて、サービスの効果が低いということです。放課後に子供が利用できる施設は、現状では図書館とはらっぱに限られていて、保護者との約束でお迎えの場所が把握できるのではないかと考えられます。</p> <p>あとは、事務作業がかなり増えるということで、具体的には登録管理の負担、QRコードの作成配布、問い合わせ対応など多岐にわたる作業が必要になってきます。今後利用料の徴収するようになった場合に、納付書の発行、口座振替処理、債権管理の事務が新しく増えることとなります。</p> <p>以上の理由から、10月以降の本格導入は見送らせていただきたいと考えています。</p>
五味会長	何かご質問等ございましたらお願いします。
全委員	(質問なし)
五味会長	当初、アンケートの結果をふまえて10月から本格導入を考えていたようですが、この利用状況や寄せられた意見等を基に判断すると厳しいということで、本格導入は全く白紙に戻す又は見送るといったことなのかと思います。これについて何か質問ご意見ございますか。
委員D	見送るで大丈夫だと思います。結局使われているのは保護者の方が子どもがお迎えのときにどこにいるかという把握、これだけなんだと思っています。それであれば、資料3にあるような個人でGPSを契約するとかで事足りるかと思っていますので、村が全員のサービスとしてやるということの視点で言うと、不要なのかなと思います。
五味会長	ほかにご意見等ございますか。
全委員	(意見なし)
五味会長	今回のスクパス導入は、子どもの放課後の安全確保を重要視する対応であったのかと思いますが、実際に運用してみて、保護者の方が子どもの居場所を特定できるというのはメリットが大きかった結果かと思っています。今後は、事前に約束をする手段もあるでしょうし、別なデジタルメディアAIを使った手段もあるでしょうし、村の考えとすれば本格導入は見送るといったことですので、皆さんの仰ることでよろしいでしょうか。
全委員	(異議なし)
五味会長	それでは、以上で本日予定されていた協議事項については終わりますが、全体を通して何かありますか。
委員G	<p>私は、はらっぱで子育てサロンを担当しています。平日も3時ぐらいになると下校からの賑やかな時間が来るのですが、土曜日とかに特に感じていることを話したいと思います。</p> <p>当初、はらっぱという施設ができて、どういう場所になるのかなと想像していた状況とは全く違う状況になっていて、ほぼ全員が、スイッチを持って来て朝からひたすらゲームをやっています。私が出勤する時間にはもう来ていて、ずーっとゲームをやっているその光景が本当に異様で、それは私と一緒に働いているサロンの先生方もみんな同じ意見で、はらっぱはこういう感じはずっと行くのかなという危機感があります。今の子にゲームをするなどはいきませんが、私はあの場所をどういう居場所として利用するのか考える必要があると思います。全員がスイッチをしているのは家にいても同じではないかと思っています。ただ、おうちの方としては、一日中怒ってはいなくていいので楽かもしれません。</p>

五味会長	<p>現場にいる方でないと感じることができないご意見をいただきました。元々この子育て支援センターという名称のように、子どもたちが最近では群れ遊ぶことが地域で行われなと感じます。おそらく、該当の子どもの保護者の方は、はらっぱに行って、楽しく1日過ごしてきて、よかったなというふうに感じていることが多いのではないかとと思いますが、果たして具体的にそれで本当に健全な状況なのか、子どもたちが群れ遊ぶような場所でもあってほしいと思いますが、こうしたらいいとはっきり断言することは非常に難しいです。</p> <p>先ほどの重要テーマにあった子どもの遊び場所のテーマに係るのと思いますので、第3期計画において行政や教育委員会がどう関わっていくか考える必要があると思います。次回以降の話し合いの一つのテーマとして位置付けていければと思います。</p> <p>その他に全体を通してございますか。</p>
全委員	(意見なし)
五味会長	では、長時間にわたってご審議いただきましてありがとうございます。協議事項は以上で終わりになります。
百瀬課長	<p>4 その他</p> <p>その他何かございましたらお願いします。</p>
委員B	<p>前回の子ども・子育て会議で、八ヶ岳風の子保育園の定員を増やすことと新園舎を作ることについて、審議して了解をいただきまして本当にありがとうございました。その後の状況についてご報告ですが、4月15日に了承いただいた後17日に信毎の新聞に子ども・子育て会議と全協での教育長のご報告の記事が載りました。実は園舎を建てるにあたって土地代を工面するのが非常に厳しかったものから、 の土地を使って土地代を節約して建てようと考えていたのと、子ども・子育て会議で了承いただいてから住民説明会を開いて了解をいただくことを考えていました。新園舎の建設予定地は上里区を予定していましたが、 に事前にその話を一切していなかったことで、 から、先に新聞に出たものから大変反対の声が強く挙がったため、苦渋の決断となりますが、5月11日の段階で法人として上里地区での建設は中止することに決めました。その後、どういう形の計画だったのかを説明する機会がないまま中止になってしまいましたので、5月15日に住民説明会をさせていただきました。本日お配りした資料はその時の資料になりますので目を通していただきたいということと、上里地区での建設は中止しましたが、別の場所での新園舎建設を引き続き進めていきたいと思っています。今現在保育をしている3歳児を、4歳のとき(4月)にできれば転園しないで済むような方向で、就学まで自分たちの保育園で保育を続けていきたいと考えています。あとは社会福祉法人ですので、法人として原村の子どもたちのためにもっと色々できると思っていることも資料に書いてありますのでぜひお読みください。</p>
百瀬課長	その他に、皆さまの方から何ありますでしょうか。
全委員	(意見なし)
百瀬課長	本日は貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後の支援事業計画等に反映できればと思っております。
古清水教育長	<p>5 閉会</p> <p>第3期子ども・子育て支援事業計画の作成にあたって、お子さんのいるご家庭からアンケートを取り、それをまとめていく作業をこれからしていくわけでございます。</p>

全部は吸い上げきれない部分があるとしたらどこをどういうふうに頑張っていけばいいのか、柱の部分の次回お示しさせていただく中で、皆さま方からも教えていただきたいと思います。本日は委員の皆さまをはじめ傍聴される方がとても多くて、子育てについて本当に多くの皆さんが関心を持たれていることは本当ありがたいことだと思っております。明日もハラビレッジミーティングという、自分たちで何ができるのか考える会を開いていただきます。そこで、子どもたちの放課後の過ごし方など実際の状況を知っていただこうと教育委員会の方で資料を作りました。土曜日の話ではなくて放課後の様子についてのことを書かせていただいたのですが、一番は、実態をおうちの方が見る機会があったら見ていただき、それをもとに自分事として捉えていただくことができればいいのかと思う部分があります。このアンケートも実はそうで、やはり自分の事として考えていただくいい機会だったのかなと思っていて、行政としてやるべきこと、家庭でやっていただくこともあるでしょうし、また地域の皆さんのご協力をいただいてやることもあるでしょうし、一緒になって事業計画を作らせていただければと思っております。

最後に、昨年度から広報に毎月教育委員会のページを作っていて、少しずつ色々な情報を流しています。ただ、この原稿が、締切の都合上どうしてもタイムリーな情報を載せることが難しく、オクレンジャー等を使うのですが、なかなか全部見ていただけなかったり、紙で配布しても紙をもらっていないと言われることがあったり、本当に情報の発信は難しいなと感じております。その辺りも一緒になって考えていければと思いますので、よろしくお願ひします。

百瀬課長

以上をもちまして、第2回子ども・子育て会議を閉じたいと思います。本日はありがとうございました。